

令和8年度学校評価実施計画

| | |
|-----|--------------|
| 学校名 | 大分豊府中学校・高等学校 |
|-----|--------------|

| | |
|------------|--|
| 前年度評価結果の概要 | <p>○生徒の主体的な学びにつながる授業改善の取り組みについては、発問の工夫や意見を交流させる場の設定、タブレット端末の効果的な活用等により、「主体的・対話的で深い学び」につながる授業が実践できている。また、中高合同による研修や教科会議の実施によって、6年間を見通した指導のあり方についても議論を深めることができている。次年度は、授業での学びをもとに授業以外の場面で生徒が自らの興味関心に従って学びを深める、より主体的な学びの実現に向けた取り組みを充実させる必要がある。</p> <p>○ミラナビにおいては、それぞれが探究の要素となる「課題の設定、情報収集、整理、分析、まとめ、表現」を織り込んだ調査をしたり、実験で仮説を立証したりするなど、質の高い探究活動を行っている。次年度は、発表機会の拡充や上級学年からの助言等による、学ぶ機会の充実を図る必要がある。</p> <p>○中高交流の行事については成果が上がった。次年度も修正を加えながら継続して取り組む必要がある。また、教科のみならず分掌の連携も深め、6年間で連続性・系統性のある学校行事の流れを構築していくべきである。</p> <p>○働き方改革については、ワークライフバランスの意識が高まり、休暇取得日数の増加及び時間外勤務時間の減少が図れた。次年度は、更なる行事・業務の精選及び効率化により、働きやすい職場体制づくりを推進する必要がある。</p> <p>○部活動の地域移行について、課題を改善しながら、休日の完全移行のみならず平日の移行を進める必要がある。</p> |
|------------|--|

| 学校教育目標 | 中期目標 | 重点目標 |
|--|--|---|
| 創造的な知性と豊かな人間性、逞しさを備え、高い志を持って国際社会でリーダーとして活躍できる人材の育成 | <ol style="list-style-type: none"> 1 生涯にわたり学び続けるための思考力・判断力・表現力及び主体的な学びの態度を育成する教科指導の推進 2 生徒が自己・他者理解を深め、世界的視野で積極的に活動する姿勢を醸成する特別活動や人権教育の推進 3 中高一貫した進路指導の体系化を進めるとともに、進学力を向上させる組織的な指導システムの構築 4 中学校・高校の全教職員が協働して、正確・迅速・効率的に業務を遂行できる学校運営体制の確立 | <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の主体的な学びを育てる教育活動と授業改善の推進 2 生徒の課題探究力および進学力の向上 3 生徒の社会性および国際感覚を養う体系的指導システムの構築 4 教職員のワークライフバランスの推進 |

| 重点目標 | 達成(成果)指標 | 重点的取組 | 取組指標 | PL SL |
|----------------------------------|--|--|---|---------------------------------------|
| 1 主体的な学びを育てる教育活動と授業改善の推進 | <p>○生徒アンケートにおける「4」の回答が70%以上</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業において主体的に考え、積極的に参加した 2 授業に満足しており、授業内容に興味を持つ | (1) 生徒が「授業内容に興味や関心を持ち、自ら積極的に学習に取り組む、振り返って次につなげていける」授業の実践 | <p>中：年間を通じ、全授業者によるICTを活用した主体的・対話的な授業の実践とその充実</p> <p>高：年間を通じ、単元に1度以上探究的活動を行うとともに、ICT(メタモジ)をポートフォリオとして単元の復習に活用</p> | <p>PL: 指導教諭 SL: 教科主任</p> |
| | <p>○職員アンケートにおける「4」の回答が70%以上</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の主体性を向上させる取組や働きかけを行っている 2 主体的な学習姿勢を育成するためにICT機器を活用している | (2) 生徒が「自ら計画・立案・運営に取り組む、活動を振り返って次につなげていける」教育活動の提供 | <p>中：特別活動行事「豊饒祭体育の部」や「文化発表会Iris」等において、実施後には次に向けての改善策を生徒自らが毎回提案</p> <p>高：特別活動行事「NEO」や「豊饒祭」等において、実施後には次に向けての改善策を生徒自らが毎回提案、また「NEO」においては、中高合同で振り返りを行い改善策を提案</p> | <p>PL: 特別活動主任 SL: 学年主任</p> |
| 2 課題探究力および進学力の向上 | <p>○生徒アンケートにおける「4」の回答が70%以上</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 総合的な学習・探究の時間に積極的に取り組み、主体的に学ぶ姿勢が身についた 2 社会に出たときに役立つ力が、学校でついていると思う | (1) 総合的な学習・探究の時間および授業における課題探究型の学習実践 | <p>中：ミラナビや授業におけるアウトプットスキルの育成を目指した、学期に最低1回の発表機会の創出</p> <p>高：ミラナビや授業における課題発見・情報収集・分析検証力の育成を目指した、校外コンテストへの応募</p> | <p>PL: 進路指導主任 SL: 学年主任</p> |
| | <p>○国公立大学入試における総合型および学校推薦型入試の合格率60%以上</p> | (2) 自己の可能性を広げる進路選択に挑戦する力の育成 | <p>中：進路講演会(全校対象で年1回、2・3年対象で年1回)の充実と、最難関・難関大志望者指導(3年対象で年8回)の実施による進路意識の高揚</p> <p>高：進路講演会やキャリア育成に関する講演会や体験講座(年間10回以上)の実施による進路意識の高揚</p> | <p>PL: 進路指導主任 SL: 学年主任</p> |
| 3 変化の激しい時代を生き抜くために必要な社会性や国際感覚の涵養 | <p>○生徒アンケートにおける「4」の回答が70%以上</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校内外における社会的ルールを理解し、進んで守ることができた 2 授業以外の場で、他者の意見を尊重しながら協働活動することができている | (1) 自己管理能力や社会性を高める活動の促進 | <p>中・高：交通安全や薬物乱用防止教室等の実施による規範意識の高揚</p> <p>中・高：学校行事等で、クラスや学年の枠を越えて交流し活動する機会を、各学期1回以上創出</p> | <p>PL: 生徒指導主任 SL: 特別活動主任・学年主任</p> |
| | <p>○職員アンケートにおける「4」の回答が60%以上</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒に他者と協働する活動を体験させ、社会性を育てることができている 2 生徒の視野を世界に向けての働きかけを行っている | (2) 国際感覚を養うための体系的な指導システムの構築 | <p>中：道徳の授業において、基本的な社会性や人権意識を育むとともに、世界に目を向ける題材による学習を年間1回以上実施</p> <p>高：学校行事や授業等において、ALTや国際的に活躍する外部人材等と交流する機会を年間1回以上創出</p> | <p>PL: グローバル教育担当 SL: 人権教育担当</p> |
| 4 教職員のワークライフバランスの推進 | <p>○職員アンケートにおける「4」の回答が70%以上</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ワークライフバランスを保つために、業務改善・休暇取得に意識して取り組んでいる 2 業務改善に向けてICT機器を積極的に活用している | (1) 休暇取得や定時退庁を促進する職場の環境づくり | <p>中：部活動の地域移行を、休日は完全実施、平日は可能な限り実施</p> <p>高：年間3回の業務改善提言シートを活用した、職場環境の現状把握とその改善</p> | <p>PL: 管理職 SL: 衛生管理者</p> |
| | <p>○休暇取得促進の取り組みにおいて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 年度内の年休取得日数15日以上が70%以上 2 時間外勤務時間80時間未満が90%以上 | (2) ICT機器の活用による業務の効率化 | <p>中・高：採点業務における「百問繚乱」の使用率100%と、情報共有のためのGoogleドライブ共有フォルダの整理・活用(年に2回状況確認)</p> | <p>PL: 教務主任 SL: 教科主任</p> |